

令和5年 神奈川県議会 第3回定例会 厚生常任委員会

令和5年12月13日

意見発表

◆亀井たかつぐ委員

当常任委員会に付託をされました諸議案等について、公明党神奈川県議団を代表して意見、要望を申し述べさせていただきます。

まず、新生児マススクリーニング検査についてです。

この検査は、新生児のうちに先天性代謝異常などの疾患を早期発見し、早期治療を行うことで、重篤な症状や生命の危険を防ぐものです。しかし、この検査の内容や意義について余り知られておらず、検査が可能な医療機関も限られていると聞いています。自己負担もあることから、ちゅうちょされる方がいるのではないかという懸念もあるところです。

検査内容や実施している医療機関の情報を提供しつつ、希望する場合は、より検査を受けられやすくすることを要望します。

また、保護者への経済的負担が少しでも軽減されるよう、実証事業の実施に向けても着実な取組を要望いたします。

次に、県立障害者支援施設等における不適切な支援への対応状況についてです。

常に人権や個人としての尊厳について、念頭に置いて仕事に当たることを要望します。作業手順目線ではなく、当事者目線でお仕事をされることを要望します。

次に、国民健康保険運営方針の改定についてです。

保険料水準の統一は、特に小規模な保険者で想定される高額な医療費の発生等による財政リスクを抑制するため、また、県内のどの市町村でも同じ保険給付を、同じ保険料負担で受けられるよう、公平性を確保していくために進めていく必要があると思います。

ただ、性急な均一化は禁物だと思います。ぜひ影響を大きく受ける市町村に対しては必要な支援を行い、市町村と十分に調整しながら進めていただくことを要望します。

以上、意見、要望を申し上げまして、本常任委員会に付託をされました諸議案等について賛成を表明して、意見発表とさせていただきます。